

報道各位、

お世話になっております。

アーカスプロジェクト実行委員会では、9月11日から12月9日までの90日間に及ぶ、アーティスト・イン・レジデンス事業期間内に、地域を対象にした複数のプログラムを行います。各企画詳細は、次頁以降の資料をご覧ください。また、取材のお申し込み、お問い合わせにつきましては各担当まで直接ご連絡ください。

## <11月のプログラム一覧>

### 1) 横浜トリエンナーレ特別連携事業「新・港村/BankART 横浜」でのトークイベント

◎11/3(木)16:00-17:00@新・港村Bゾーン | アーカススタジオサテライト

アーティストトーク「地震を直すプロジェクトのはじまり、いま、みらい」ニシコ(アーティスト)

ニシコ | 1981年生まれ。千葉県出身、オランダ在住。東京造形大学で写真を学んだあと、オランダ王立芸術アカデミーでファインアートを学ぶ。円滑な日常生活の流れが時折さえぎられる場面や、出来事から発想を得て、様々なメディアを用いたインスタレーション、インターベンション作品を制作。火傷のアクシデント、文化や言葉の問題、失われてゆく記憶など、ネガティブととらえられがちな物事をポジティブなものとして扱いながら、物事の通念化された価値と向き合う。

◎11/4(金)19:00-21:00@新・港村Dゾーン | 自由広場

「アーカスのAIR 2007-2009～地域への鑑賞／受容のさまざまなありかた(仮)～」

遠藤水城(前アーカスディレクター、インデペンデントキュレーター)＋ゲスト 冨井大裕(アーティスト)

遠藤水城 | 1975年、札幌生まれ。2004年、九州大学比較社会文化研究学府博士後期課程満期退学。

art space tetra(2004/福岡)、Future Prospects Art Space(2005/マニラ)、遊戯室(2007/水戸)などのアートスペースの設立に携わる。2004-05年、日本財団APIフェローとしてフィリピンおよびインドネシアに滞在。05年、若手キュレーターに贈られる国際賞「Lorenzo Bonaldi Art Prize」を受賞。「Singapore Biennale 2006」ネットワーク・キュレーター。2007年、Asian Cultural Councilフェローとして米国に滞在。同年より2010年までARCUS Projectディレクターを務める。2009年、「福岡アジア美術トリエンナーレ」協力キュレーター。「ヨコハマ国際映像祭2009」キュレーター。2011年、「曾根裕展:Perfect Moment」(東京オペラシティアートギャラリー)ゲストキュレーター。

冨井大裕 | 1973年新潟県生まれ。東京都在住。1999年武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース修了。

1999年第4回アート公募2000審査員大賞受賞。2011年より日本大学芸術学部美術学科助教。既製品を台座に使用した人型のシリーズを経て、既製品のみを組み合わせた作品に移行、現在に至る。art&riverbank(東京 03,07年)、CAS(大阪 05年)、switchpoint(東京 04-10年)、ラディウムーレントゲンヴェルケ(東京 11年)他、個展多数。「ニュー・ヴィジョン・サイタマ(△)7つの眼×7つの作法」埼玉県立近代美術館(埼玉 07年)、「変成態—リアルな現代の物質性」ギャラリーαM(東京 09年)、「MOTアニュアル2011 Nearest Faraway | 世界の深さのはかり方」東京都現代美術館(東京 11年)、「横浜トリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることができるか?」横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫(横浜 11年)などに参加。2008年よりアーカス・スタジオにて個展「企画展＝収蔵展」を継続して開催中。

◎11/5(土)15:00-17:00(～18:00まで交流会)新・港村Aゾーン | スクール校舎

「AIRコーディネーターという特殊技能について、3.11以降の関東圏AIR危機管理についてのオープンディスカッション」  
鈴木慶子(遊工房)、杉山豪介(アーカスプロジェクト)、予定:小沢有子(アートイニシアティブトーキョー)、予定:太田エマ(3331アーツ千代田)、ほか2名交渉中

17:00-18:00の交流会は、関東圏に現在滞在中のレジデントアーティストを招待し、アーティスト同志、AIRスタッフ間の情報交換をする内容(交流会会場は、Dゾーンのカフェエリアに移動)

## 2) アーカスプロジェクト 2011 いばらき 最終オープンスタジオ

オープンスタジオ\_03『トリプル・スタンダード』11月26日(土)、27日(日)12:00-19:00

滞在中に制作、リサーチしたプロジェクトの成果を発表します。滞在中制作終盤のレジデントアーティストが、アーカス以後になにをするのか、また自身の創作活動に対しどんな確信を得たのかを報告する機会となります。また、H+H(ヒビノホスピタル)ワークショップの実施を通じ、アーカスプロジェクトの活動初期から現在まで協働するアーティスト日比野克彦氏と守谷市長との対談を行い、AIRと地域の関係性についてお二方からお話を伺います。海外のアーティスト、地域、日本のアーティストの三者がおりなす独特なアーカスの景色の中で、「未来」について語り合い、思いを馳せる2日間となります。

### ●西尾千尋+神村恵+しばたみづき+山口礼子の公開制作

4名のアーティストが即興のライブパフォーマンスを終日繰り広げます。

時間:12:00～19:00

会場:スタジオ1

### ●日比野克彦(アーティスト)+会田真一(守谷市長)対談「AIRと地域とアーティスト(仮)」

時間:15:30～17:30

会場:ロッカールーム

### ●クロージングパーティ

時間:18:00～20:30

会場:ロッカールーム

参加費:無料

-----  
アーカスプロジェクトは、基幹事業である国際アーティスト・イン・レジデンスプログラムと地域を対象にした「アートと地域を繋ぐ交流プログラム」を運営しており、これら地域プロジェクトとの生活感ある交流が起るのがアーカスのレジデンスの特長となっています。

### 3) おやこでベビーコンタクト

サーカスアーティスト金井圭介(守谷市在住)を講師に迎えた、親子を対象にしたレギュラープログラム。

毎回テーマを設定し、親子のスキンシップ方法の提案、子どもの身体能力を最大限に発揮するように促す動きを、実践を交えて紹介します。

日時:11月26日(土)、以降、毎月1回土曜日を予定しています。

■担当:杉山

<お問い合わせ先>

**ARCUS Studio / アークスタジオ**

〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内

TEL 0297-46-2600

EMAIL [arcus@arcus-project.com](mailto:arcus@arcus-project.com)

WEB <http://www.arcus-project.com>

BLOG <http://arcus4u.exblog.jp/>

TWITTER <http://twitter.com/arcusproject>